



2015年 初春号  
(2015年1月10日発行)

## 新年を迎え年頭のご挨拶を申し上げます



理事長  
院長 那須 範満



昨年の衆議員選挙の争点の一つとなりましたが、消費税の増税が1年半先送りされました。このことにより社会保障費の抑制圧力が強まることが予想されています。今年も医療界にとっては厳しい年になりそうです。

さて、当院では昨年9月から地域包括ケア病棟を開設いたしました。この病棟は急性期の病院で治療を終えたあと自宅に帰るには少し不安がある患者さんに対してリハビリなどの治療を行って在宅復帰を支援することを目的としています。入院期間は2ヶ月以内と決められています。急性期病院と在宅の掛け橋の役割です。

もちろん、これまでと同様に急性期病院として24時間、救急患者さんを受け入れることも含めて、これからも地域で求められる医療を提供していきたいと考えています。

本年もどうかよろしく願い申し上げます。



### 医療法人尚和会は大阪国税局西宮税務署より優良申告法人として表敬を受けました

医療法人尚和会は平成26年11月19日に大阪国税局 西宮税務署より優良申告法人として表敬を受け、表敬状を授与されました。(平成元年より5年毎に毎回同表彰授与)

優良申告法人とは、税務署長が申告納税制度の趣旨に即して、自主的に適正な申告と納税を行う法人の育成のため、税務に対する誠実さを段階的に区分し、その最上位に位置する法人を優良申告法人に選定し、これらの法人について敬意を表明するものです。



優良申告法人表敬のためには形式的判定基準や実質的判定基準等の厳しい基準をクリアすることが必要で、西宮税務署管内の法人のなかでも、表敬を受ける法人はごく僅かで、医療法人では尚和会のみです。今後とも優良申告法人として適正な申告・納税を行い、地域から信頼される医療の提供を続けていけるよう努力してまいります。

# 宝塚第一病院看護部を紹介します

看護部は、病院のあらゆる部門と関連を持ち、患者様を中心とした調整と、患者様のニーズに応える役割を持ち、機能しております。非常に多岐にわたる看護活動を展開しておりますが、今回はその要となる「看護部運営」についてご紹介いたします。

## 1. 「看護部運営モデル」について

上部の円形部分は病院組織をさし、下部のハート部分は看護職員個々と各部署をさしています。ミッションに基づいた病院理念・看護部理念を達成させるために“看護の質保証と改善”を視点とし、目標管理の展開と専門職としての能力開発に努めております。

## 2. BSC (バランス・スコア・カード) について

BSC を 2009 年 4 月より導入し、看護を可視化させ目標達成を図るためのツールとして活用しております。

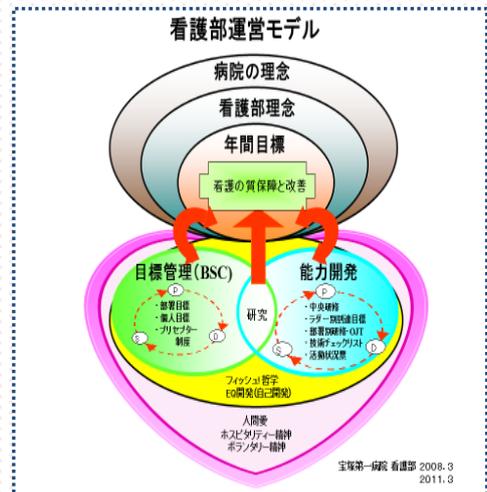
BSC は、顧客の視点、業務プロセスの視点、学習と成長の視点、財務の視点の「4つの視点」と「戦略マップ」「フォーマット」で構成され、4つの視点の因果関係を視覚的にわかりやすく表現し、戦略マップに落とし込んでいます。フォーマットには、目標、評価指標、目標値、行動計画が示され、目標達成に向け、看護部職員が一丸となり活動を展開しております。

## 3. リソースナース室について

専門性を高め、看護の質向上を図るためにリソースナース室を設置し、感染管理認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師、医療安全管理者、教育担当者を配置し、個々人は、組織横断的に精力的に活動するとともに、スタッフを巻き込みながら、質の高い安全・安心の看護を提供しております。

以上、看護部運営上のエッセンスしかご紹介できませんでしたが、今後とも看護部をよろしく願います。

副院長・看護部長 春江 ハル子



## 冬の感染症に気をつけよう！！

- ❖ 冬季は空気が乾燥し、気温が低くなるためウイルス感染症がピークを迎えます。空気が乾燥するとウイルスの水分が蒸発して軽くなるため空気中に浮遊し、伝播しやすくなります。浮遊したウイルスによって、人ののど・鼻腔・気管支の粘膜に定着し、感染が occurs します。
- ❖ 現在、全国的にインフルエンザが流行しています。
- ❖ “手洗い”と“咳エチケット”(マスクの着用)が感染対策の基本です。
- ❖ インフルエンザの予防接種を受けているから罹らないのではないことを理解し、症状出現時にはできるだけ早めに医療機関を受診するようにしましょう(高熱が出なくてもインフルエンザと診断されるケースがあります)



マメに  
マスク・手洗い